

## 第2章 河川の利用と環境の 整備と保全に関する事項

# 第1節 三田川他7河川を 取り巻く社会環境等

## 1. 河川を取り巻く社会環境

# 1. 河川を取り巻く 社会環境等

大津市全体の下水道普及率は86.2% (H.10.3) であり、現在、諸子川、堂の川の雨水幹線が完了し、狐川、盛越川の雨水幹線が実施計画中です。

三田川他7河川流域の下水道計画範囲図を右図に示します。



## 第2節 水質の現状把握

### 1. 三田川他7河川の水質の現状

# 1. 三田川他7河川の水質の現状

## 〔環境基準の類型指定〕

8河川のうち、三田川、兵田川、相模川がAA類型、盛越川・狐川がA類型に指定されています。

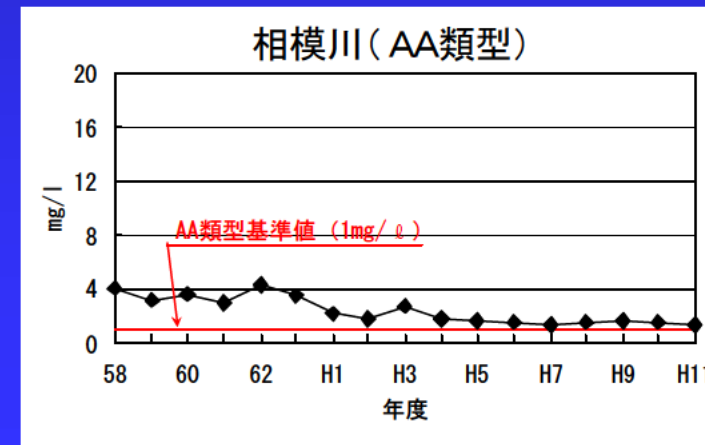
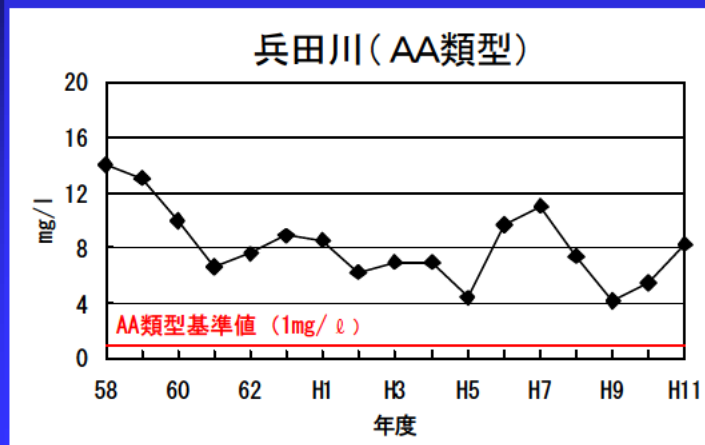
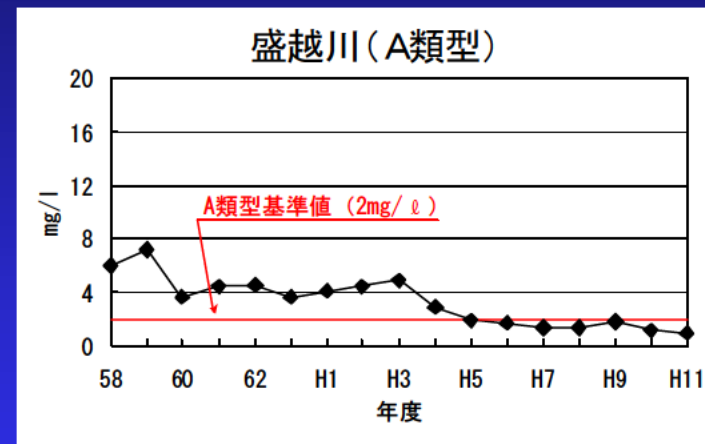
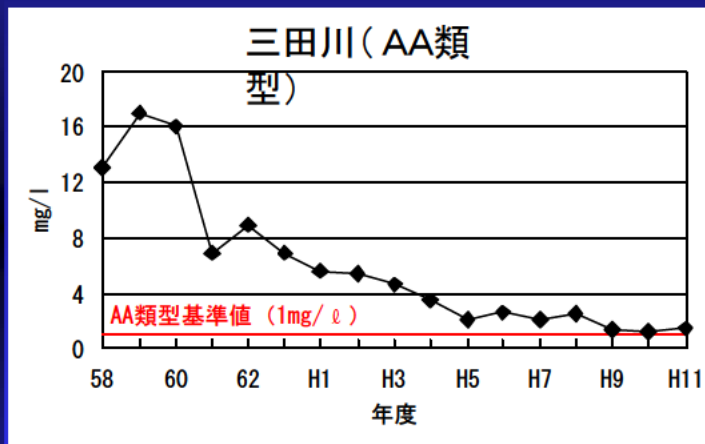
環境基準の類型指定状況

	類型	備考
三田川	AA	大津市指定
盛越川・狐川	A	//
兵田川	AA	//
篠津川	—	—
相模川	AA	滋賀県指定
堂の川	—	—
諸子川	—	—

(出典:「環境白書—資料編—平成12年度版」滋賀県)

# 1. 三田川他7河川の水質の現状 〔環境基準(BOD)の達成状況〕

河川の有機汚濁の指標であるBODの値は、近年下水道の普及とともにかなり改善されてきています。  
〔BODの経年変化〕



(出典:「大津市の環境 平成12年度版」)

## 第3節 生物の現状把握

### 1. 生物の現状

1.1 魚類

1.2 底生動物

1.3 植物

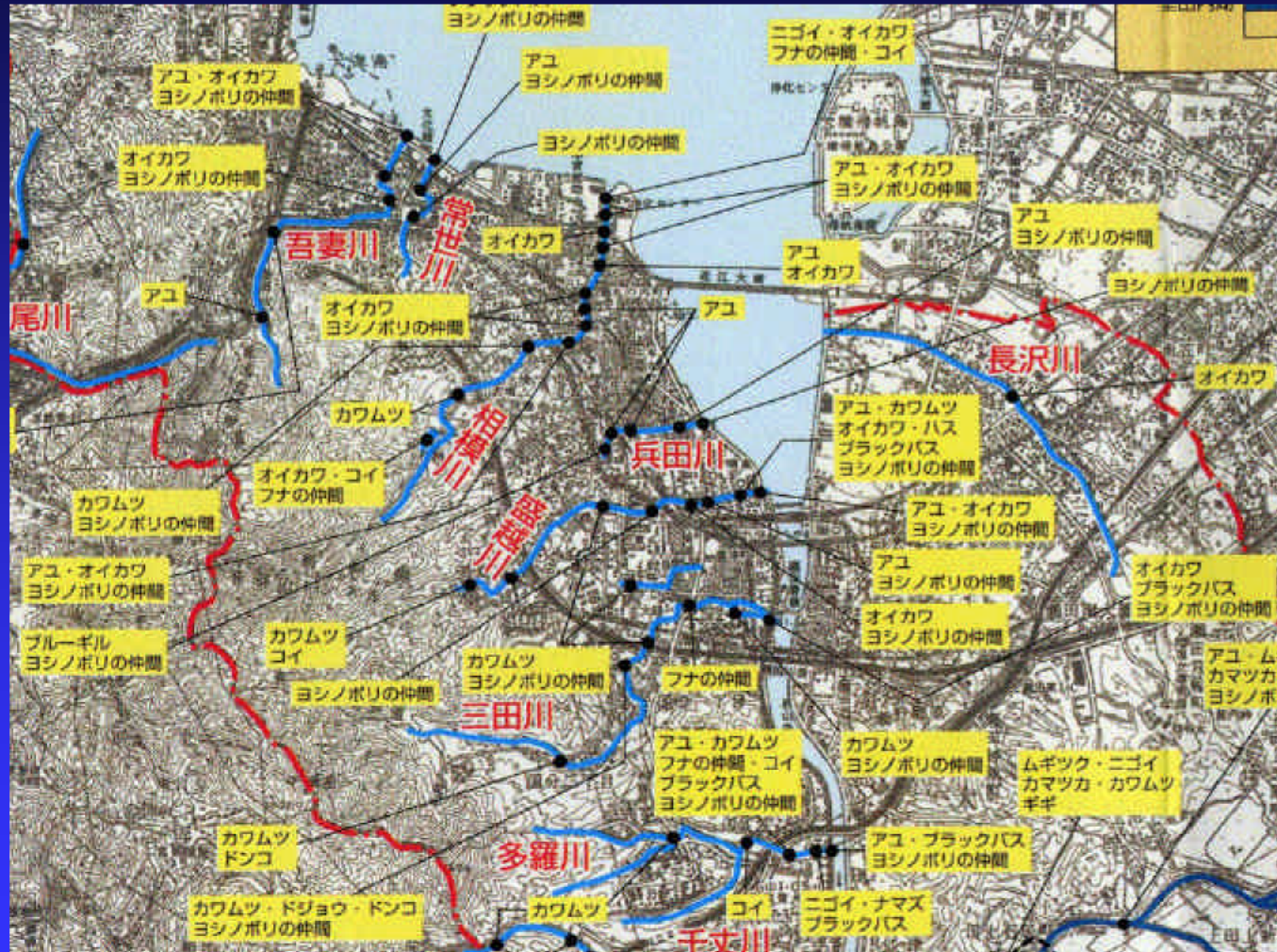
1.4 鳥類

1.5 昆虫類

1.6 小動物

# 1. 生物の現状

## 1.1 魚類



大津市「さかな」生息地図

出典:大津市民の「身近な環境調査員」による調査結果 平成6年



# 1. 生物の現状

## 1.1 魚類

河川の上流域～中流域のアマゴ、タカハヤや中流域～下流域のアユ、オイカワなどが生息しています。ヨシノボリは比較的広く分布しています。近年、全国的に急激に増加した外来で魚食性のオオクチバス、雑食性のブルーギルも生息しています。

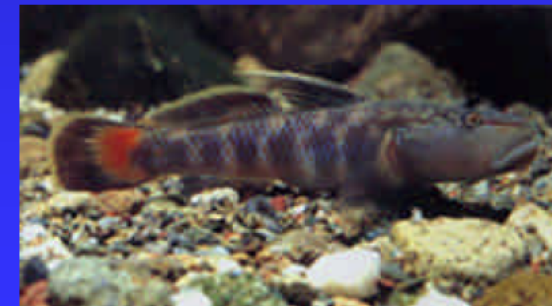
### 魚類調査結果

目	科	種
サケ	サケ科	アマゴ
	アユ科	アユ
コイ	コイ科	コイ
		オイカワ
		カワムツ
		タカハヤ
	ドジョウ科	ドジョウ
スズキ	サンフィッシュ科	オオクチバス
		ブルーギル
	ハゼ科	ヨシノボリ
		ドンコ
3目	6科	11種

アマゴ



ヨシノボリ



(出典:「大津放水路環境調査評価業務 報告書」平成6年3月)

# 1. 生物の現状

## 1.2 底生動物

8河川において、109種の底生生物の生息が確認されています。この内、特筆すべき底生生物としては、ゲンジボタル、クロサナエ、ヤマトクロスジヘビトンボ、キタガミトビゲラが含まれ、各河川の中～上流部にかけて生息しています。

ゲンジボタル



# 1. 生物の現状

## 1.3 植物

- 三田川には、冠水地草本のツルヨシ、抽水植物のヨシの他、沈水植物のヤナギモやコカナダモ(帰化植物)が見られます。
- 盛越川、狐川、堂の川にはコカナダモ、ヤナギモ、エビモの沈水植物が見られます。
- 兵田川流域の新池には浮葉植物のガガブタが見られます。

### 水生植物現地調査結果

科	種	確認位置								
		三田川	盛越川	狐川	兵田川 (新池)	篠津川	相模川	堂の川	諸子川	
ミツガシワ	ガガブタ				○					水草(浮葉植物)
イネ	ヨシ	○								水草(抽水植物)
	ツルヨシ	○								冠水地草本
トチカガミ	コカナダモ	○	○							水草(沈水植物)、帰化植物
ヒルムシロ	ヤナギモ	○	○					○		水草(沈水植物)
	エビモ			○				○		水草(沈水植物)

(出典:「大津放水路環境調査評価業務 報告書」平成6年3月)

# 1. 生物の現状

## 1.3 植物

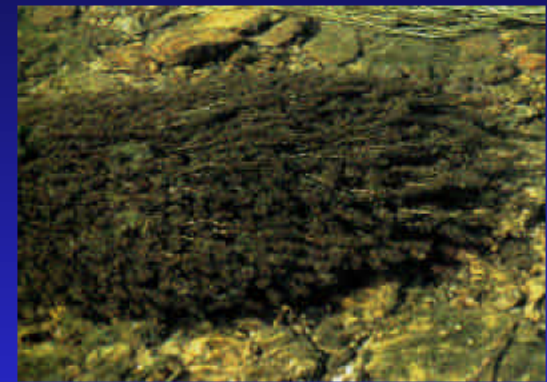
ヤナギモ



エビモ



コカナダモ



ヨシ



ガガブタ



# 1. 生物の現状

## 1.3 植物

事業計画区域周辺の植物は、アカマツーモチツツジ群落が広く分布し、三田川より南側の区域にスギーヒノキ植林が見られます。

### 特筆すべき植物種

科	種	選定理由
ウマノスズクサ	ミヤコアオイ	指定
ツツジ	イワナシ	指定
	コバノミツバツツジ	指定
キク	フジバカマ	R(絶滅危惧種)
	サワオグルマ	指定
ユリ	ショウジョウバカマ	指定
ラン	コクラン	指定
ミツガシワ	ガガブタ	R(危急種)

指定:琵琶湖国定公園特別地域内の指定植物種

R :レッドデータブック記載種

### フジバカマ



(出典:「大津放水路環境調査評価業務 報告書」平成6年3月)

# 1. 生物の現状

## 1.4 鳥類

事業計画区域周辺では23科56種の鳥類の生息が確認されています。この内特筆すべき鳥類としては、水鳥ではカイツブリ、カワウ、カモ類、水辺の鳥ではサギ類、カワセミ、セグロセキレイなどが生息しています。

### 特筆すべき鳥類

目	科	種
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ
ペリカン目	ウ科	カワウ
コウノトリ目	サギ科	ゴイサギ
		アマサギ
		コサギ
		アオサギ
ガンカモ目	ガンカモ科	ヒドリガモ
		キンクロハジロ
		ミコアイサ
		マガモ
		カルガモ
ワシタカ目	ワシタカ科	サシバ
キジ目	キジ科	ヤマドリ
ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ
キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ
スズメ目	セキレイ科	セグロセキレイ
9目	9科	16種

(出典:「大津放水路環境調査評価業務 報告書」平成6年3月)

ゴイサギ



カワウ



# 1. 生物の現状

## 1.4 昆虫類

事業計画区域周辺では、151科468種の昆虫類が確認されています。このうち、特筆すべき昆虫類17種が含まれ、水系依存種のカトリヤンマ、ギンヤンマや、狐川上流域では環境指標種のゲンジボタルが生息しています。

ゲンジボタル



(出典:「大津放水路環境調査評価業務 報告書」平成6年3月)

# 1. 生物の現状

## 1.6 小動物

(哺乳類)

事業計画区域周辺では、8科11種の哺乳類の生息が確認されています。このうち、特筆すべき哺乳類のニホンリス、ホンドタヌキ、ニホンイノシシ、ニホンジカが含まれますが、河川は生息地の一部として利用されていると思われます。

(両生類、爬虫類)

事業計画区域周辺では、5科12種の両生類、4科9種の爬虫類の生息が確認されています。このうち、特筆すべき両生類として、兵田川、篠津川、諸子川の上流域のタゴガエル、兵田川上流域付近のため池にモリアオガエルが生息しています。

(出典:「大津放水路環境調査評価業務 報告書」平成6年3月)



## 第4節 河川利用の現状把握

1. 河川利用の把握
2. 水利用の概要
3. 流水の管理

# 1. 河川利用の把握

河川空間は、水と緑のオープンスペースとして親水公園や憩いの場など、近隣住民の方々に利用されています。

河川は自由使用を基本にしていますが、防災や環境の保全など河川管理本来の目的を達成するため、利用の調整を図ることや、将来にわたって河川の管理に支障がないかなど、総合的な調整を図って利用していただくようにしています。



親しみやすい護岸(三田川)



蛍の育成(盛越川)



今井兼平の墓(盛越川)

# 1. 河川利用の把握

## (1) 不法行為への対応

河川を安全で気持ちよく利用するために、また、河川の管理に支障とならないように、ごみの不法投棄や不法占用などの未然防止のため、巡視の強化、看板の設置などを行っています。

## (2) 河川愛護

地域の河川愛護に対する意識向上を図るため、ボランティア活動への支援などを行っています。

県では、河川事業の促進及び河川環境の整備等に関して、奉仕、実践活動を通じ、顕著な功績のあった個人にまたは団体に感謝し、「河川事業功績者感謝状」を贈呈しています。

# 1. 河川利用の把握

## 河川愛護活動



花の植え替え(三田川)



愛護団体による親子  
魚つかみ大会(三田川)



## 2. 水利用の概要

### 2.1 三田川等の利水

- 河川の水は、防火用水や農業用水に利用されています。また、流域内には溜池も多く、組合で管理が行われています。

既得用水の取水堰水量と受益面積

	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	受益面積 (ha)
三田川	0.56	2.65
盛越川	0.23	24.60
兵田川	0.06	4.70
篠津川	0.01	0.30
相模川	0.01	0.35

(出典：滋賀県河港課資料)

# 3. 流水の管理

## 3.1 河川の流況

- 限りある三田川他7河川の水を有効かつ合理的に利用し、必要な水質の確保、河川環境と調和した適正な水利用の実現のために、水利用の調整、水質保全、渇水時の対応など、有機的な水管理を行っています。

主要河川の流況表 (水位観測から流量換算)  
( $m^3/s$ )

	最大	豊水	平水	低水	渇水	最小	観測期間
三田川	2.05	0.06	0.03	0.02	0.01	0.00	H7~H10
盛越川	0.51	0.03	0.02	0.01	0.00	0.00	H6~H11
相模川	0.72	0.04	0.02	0.01	0.00	0.00	H7~H9

(出典：琵琶湖工事事務所調査課)

# 3. 流水の管理

## 3.2 三田川等の流水管理

- 流水管理は、河川管理者において、雨量情報を管理し、地域の人と連携を取りながら流域全体を見た管理を行っています。



防火用水設備(盛越川)